

■エクス・アン・プロヴァンス情報リスト

Aix-en-Provence in France: Information List

Hashimoto Tsutomu 201608-201610

201611

[空港から Aix-en-Provence へのバス](#) (時刻表もネット上にあり。30分間隔。)

[Aix-Marseille University](#)

[ル・ガザレ](#) (Cité Universitaire Les Gazelles 学生寮+研究者の寮。私はパビリオン2の一階にあるメゾネットタイプの S203 室に滞在した。右となりはシム・ヨンヒ先生、左となりはハン・サンジン先生だった。)

■研究関係

[LIBEAC](#) (Liberalism in between Europe and China, 研究プロジェクト全体の紹介 2013-2016)

Liberalism and Chinese Economic Development: Perspectives from Europe and Asia

[Workshop](#) (Lundi 12 Septembre 2016 - 14h00 à Mardi 13 Septembre 2016 - 17h30)

(参加したワークショップの一日目。私が報告したペーパーはこのホームページに掲載されている。)

[旧施療院](#) Centre de la Vieille Charite (マルセイユの世界遺産で、1670年に建てられた病院。ワークショップの二日目は、この中のシネマで行われた。)

[Institut de recherches asiatiques](#) (エクス-マルセイユ大学のアジア研究所)

[Guy Faure](#) (研究所の Directeur)

[Jean-Louis Margolin](#) (マルゴラン教授、『皇軍』(未訳)で2007年に Augustin Thierry 賞受賞)

■フランスの思想組織

[Philosophy-Economics Network](#) (フランス、エクス・アン・プロヴァンスを拠点とする経済思想の世界的ネットワーク。[Jean-Sébastien Gharbi](#)氏は中核的なメンバーとして創立に尽力。)

[Review de Philosophie Économique](#) (フランスの経済思想系の学術誌)

[Institut Coppet](#) (フランスにおける自由主義の研究組織。[英語での紹介](#)はこちら)

[Contrepoints](#) (フランスにおける自由主義のネット・ジャーナル)

[Wikiberal](#) (フランスの自由主義関係の Wiki。以上の三つは相互に関連している。)

[Gregoire Canlorbe](#) (彼からいまインタビューを受けている。)

■フランスのオーストリア学派研究者

[Gilles Campagnolo](#)

[Pierre Garelo](#)

[Jean Magnan de Bornier](#)

[Serge Schweitzer](#)

Mathieu Bédard

[Emmanuel Martin](#) (エクス・アン・プロヴァンスのオーストリア学派研究者、ヴォーカル、ギターリスト。[Debazine](#) は、ミュージシャンとしてのホームページ。debazine は彼の本名。弁護士の妻に捧げた曲 Woman あり。)

<https://www.facebook.com/TheSurgeBand/> (フェイスブックではコンサート情報も。)

[Nanny](#) (ファースト・アルバム debazine より、YouTube ヘルリンク)

[The Black and the Red](#) (ファースト・アルバム debazine より、YouTube ヘルリンク)

[Elisabeth Krecke](#) (ニューヨークでお会いしたオーストリア学派研究者。いまはクレッケ姉妹で芸術プロジェクト。)

■お会いした若手の研究者

Pierre Schweitzer (<http://fr.viadeo.com/fr/profile/pierre.schweitzer2>)

Astrid Nouvellet (<https://fr.linkedin.com/in/astrid-nouvellet-322348a5>)

Maxime Beynet (<https://fr.linkedin.com/in/maxime-beynet-30115288>)

Marc Lassort (<http://fr.irefeurope.org/Marc-Lassort.0042a>)

Daniil Gorbatenko (<https://www.atlasnetwork.org/about/people/daniil-gorbatenko>)

Pinault Francisco Santiago (<http://fr.viadeo.com/fr/profile/santiago.pinault>)

■フランスで著名なりバタリアン研究者

Pascal Salin (https://en.wikipedia.org/wiki/Pascal_Salin)

David Hart (<http://davidmhart.com/liberty/>)

Bertrand Lemennicier (<http://lemennicier.bwm-mediasoft.com/>) 各人に核兵器を。

Henri Lepage ([https://en.wikipedia.org/wiki/Henri_Lepage_\(economist\)](https://en.wikipedia.org/wiki/Henri_Lepage_(economist)))

Jean Tirole (https://en.wikipedia.org/wiki/Jean_Tirole)

Gabriel Gimenez-Rouche

(http://www.wikiberal.org/wiki/Gabriel_Gim%C3%A9nez-Roche)

François Facchini (<http://www.ritm.u-psud.fr/researchers/francois-facchini/>)

Veronique de Rugy (<https://www.mercatus.org/veronique-de-rugy>)

Cécile Phillipe (http://www.wikiberal.org/wiki/C%C3%A9cile_Philippe)

■韓相震 (ハン・サンジン)

[Wikipedia](#) (日本語) | [Wikipedia \(English\)](#)

[Joongmin Research Institute](#) (ハン・サンジン先生を所長とする中民社会理論研究財団。

[ハン・サンジン先生の紹介](#) | [韓国語トップページ](#))

[EARN ネットワーク](#) (中民社会理論研究財団を中心に、各国の連携でリサーチ・データを共有している。)

[韓国の政党「国民の党」](#) (現在、第三の勢力。ハン・サンジン先生は創立のブレインとして参加。)

■セザンヌ

[Atelier de Cezanne](#) (セザンヌのアトリエ)

[Terrain des Peintres](#) (セザンヌがサン・ヴィクトワール山を書いた場所)

Bastide du Jas de Bouffan (セザンヌの別荘)

<http://www.cezanne-en-provence.com/les-sites-de-cezanne/>

<http://www.cezanne-en-provence.com/les-sites-de-cezanne/bastide-du-jas-de-bouffan/>

[Cezanne et Moi](#) (2016年9月に公開された映画「セザンヌと私 (エミール・ゾラのこと)」、YouTube での CM にリンク。)

■美術館

[Caumont Centre D'Art](#) (美術館、ターナー展をやっていた。)

[Musée Granet](#) (グラネ美術館、セザンヌの作品がいくつかある。別館も必見。)

[Fondation Vasarely](#) (ヴァザルリ財団美術館。建築家 [ヴァザルリの紹介](#))

■図書館

Cite du Livre (市立図書館。滞在場所の証明書があれば、年会費 20 ユーロを支払って利用可能。入り口のモニュメントは、カミュ、モリエール、サンテグジュペリ。入り口向かいのレストランは、安くおいしく、しかも速い。)

<http://www.citedulivre-aix.com/citedulivre/>

<http://www.atlasobscura.com/places/bibliotheque-mejanes>

■建築

Conservatoire Darius Milhaud (隈研吾の建築作品)

<http://www.aixenprovence.fr/Conservatoire>

<http://kkaa.co.jp/works/architecture/aix-en-provence-conservatory-of-music/>

[Cathédrale Saint-Sauveur](#) (サン・ソヴール大聖堂、5~17世紀に建てられた。)

[Pavillon de Vendôme](#) (1665年に完成した代表的な館。)

[Monument Joseph Sec](#) (フランス革命の記念碑)

■お店いろいろ

[Book in Bar](#) (読書カフェ、日本語の本も多少ある。)

[Rêve de Manga](#) (日本のマンガとフィギュアの店。)

[Rue Des Bouquinistes Obscurs](#) (本屋、洗練された店内)

[La Maison de la Hi-Fi](#) (オーディオ店)

[Papeteire MICHEL](#) (画材屋)

[Copy store "COREP"](#) (USBメモリーでデータを持ち込めばプリントアウトできる。)

[Farinomanfou](#) (味・精神ともに深いパン屋。仙人の風格。)

[WEIBEL](#) (Patisserie、2016年9月に新装)

[Chocolaterie A.Duchâtel](#) (ショコラトリ)

[Puyricard](#) (ショコラトリ、左隣のベトナム系テイクアウト NEMERIE は故郷の味。Rifle Rafle 通り)

[Bio C'Bon](#) (オーガニック食品の店。この町に三店ある。)

[Monoprix](#) (モノプリ。ミラボー通りのスーパー。よく利用した。)

[Franprix](#) (フランプリ。日曜日に開いている、ほぼ唯一のコンビニ。)

[La Corbeille d'Orient](#) (お米をよく買った。)

[Hue Cocotte](#) (フランス料理のレストラン。おすすめ。若きリバタリアンたちと熱く議論した。)

[La Brocherie](#) (フランス料理のレストラン)

[Antioche](#) (レバノン料理のレストラン、サンティアゴさんのおすすめ。)

■その他

[Château d'If](#) (シャトー・ディフ、「イフ島」、デュマ『モンテ・クリスト伯』1844年刊の舞台。この島で配布されている日本語パンフレットのPDFもネット上にあり。)

[イル・デ・フリウル](#) (島。イフ島と同じラインの船に乗る。ビーチがある。)

[Aix & Terra](#) (地元の製品)

[Caprice des Dieux](#) (チーズのようなフロマージュ。ハン先生とシム先生がよく食べていた。)

映画「[奇跡がくれた数式](#)」(インドの数学者ラマヌジャンの伝記)